

1K09B220-9

指導教員 主査 武藤泰明 先生

若木 演

副査 石井昌幸先生

【目的】

本論文では、近代スポーツにおいて同一の種目でありながら、男子と女子によってルールや使用する用具が異なる、非常に珍しいスポーツであるラクロスについて、まずラクロスの世界的現状と日本の現状、男女の違いについて国際ルールを基に考察する。その後、なぜ男女によってルール、使用する用具違いが生まれたのかを、ラクロスの歴史研究、他のスポーツとの関わり、ラクロス協会事務局保坂光信へのインタビューから考察する。

【方法】

研究は文献研究とインタビューで行う。第2章ではラクロスの現状について男女共4年に度行われるラクロスワールドカップへの参加国数の推移、国際ラクロス連盟(FIL)の発表するラクロスに取り組む国と地域の数、ラクロス界の一大勢力であるアメリカの現状、日本の現状から考察する。

第3章ではラクロスにおける男子と女子のルール、使用する用具の違いをラクロス国際ルールから論述する。具体的には人数・試合時間・フィールドサイズ・ファウル・用具の違いに触れ、より違いを明確化するために図や写真を利用する。

第4章ではラクロスの歴史研究から、ラクロスがどのように生まれ、発展したのか、その中で男子と女子のルールや用具の違いはいつ頃生まれたのか、なぜ違いが生まれたのか、その後互いがどのように発展し現在に至るかを考察する。

第5章ではアメリカンフットボールとアイスホッケーの防具の歴史について論述し、いつ頃、なぜ防具は生まれ、どの様に発展したか、男子ラクロスにどのような影響を与えたかを考察する。

第6章では日本ラクロス協会事務局保坂光信へのインタビューから日本とアメリカのルールの違い、日本のルールの現状、男子と女子の違いが生まれた要因、アメリカンフットボールやアイスホッケーの影響に

ついて意見を伺い、考察する。

【結果】

ラクロスの現状を分析すると、近年競技国が急増していることが分かった。第3章から男女ラクロス間で選手の装備(男子は防具の着用が義務化)、試合時間、相手へのボディコンタクトの有無など様々な点で相違がみられた。第4章は男女の違いを歴史の変遷から考察した。すると、女子ラクロスはイギリスの文化の中で発展し、男子ラクロスはアメリカの文化の中で発展したことが判明し、地理的、文化的な違いが男子と女子のルールの違いを生んだと結論付けた。第5章では男子ラクロスの防具着用の始める時期と、アメリカンフットボールやアイスホッケーが防具を本格的に導入する時期との重なりから、男子ラクロスのルールや用具の発展に関係していると考察できる。第6章では日本ラクロス協会事務局保坂光信へのインタビューから、日本には国際ルールとは異なるローカルルールがある、それらのローカルルールはラクロスに取り組む国の課題解決のために定められていると結論付けた。以上の研究から、男子ラクロスと女子ラクロスの違いは①発展の地理的・文化的違い②ルールや用具が分化した当時の他のスポーツの影響の二つが大きな要因であると結論付けた。

【考察】

ラクロスは国や地域の文化的な要因、実施する施設の状況など様々な要因に合わせ、それぞれの国におけるローカルルールを発展させてきた。

今後もラクロスの発展を考えれば、アメリカ的な商業的ルール、「魅せるラクロス」へのルール変更ではなく、各国のローカルルールを推奨し様々な形のラクロスを認めることが大切である。そして国際ルールでは各国のルールに対応できるよう、ルールに幅を持たせることが各国でのローカルルールの発展に寄与し、総じてラクロスのさらなる発展につながると考えられる。